

～第 11 回国際ジェロンテクノロジー学会～ ベネッセスタイルケアの「サービスナビゲーションシステム」について発表

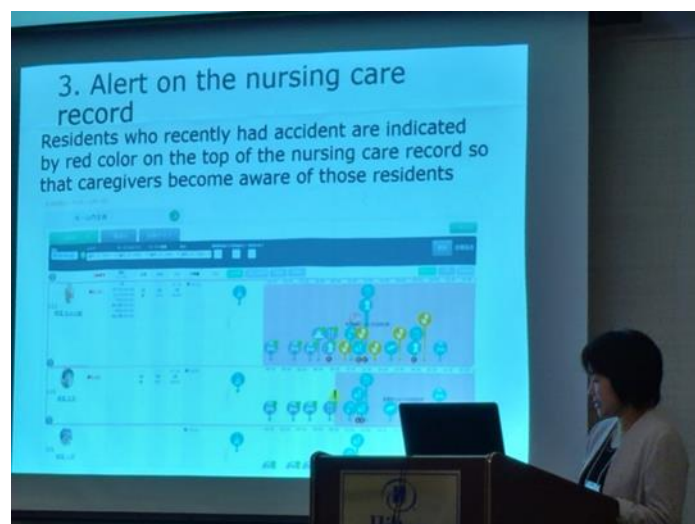
株式会社ベネッセスタイルケアの社内シンクタンクであるベネッセ シニア・介護研究所は、2018 年 5 月 7 日から 9 日にアメリカ・セントピーターズバーグで行われた第 11 回国際ジェロンテクノロジー学会にて、ベネッセスタイルケアで自社開発し導入を進めている「サービスナビゲーションシステム」についての発表を行いました。

当該システムは、単なる介護記録にとどまらず、予定しているケアを確実に提供するための機能や、事故が起きたときの対応支援機能、入居者の大幅な体重減少など注目すべき変化があった場合のアラート機能も兼ね備え、効率的かつ効果的に介護サービスを提供できるような工夫をしています。発表の中では、このシステムの導入によりすでに情報共有の効率化や、入居者に関する情報の量・質の更なる向上、介護サービスの提供や事故対応における遅れの低減などの効果が見られ始めていることも報告し、来場者からは高い関心が寄せられました。

【発表概要】

発表者：Ryoko FUKUDA, Takeshi IWAIDA

発表演題：Service Navigation System (sNs) – a novel nursing care record system



発表の様子